

と相談がある▷省令改正で良い方向に進んだが、実感は伝わらない▷料金や安全面など情報提供できる人材の育成に期待(事業者)▷県協調査では90%が三部制。「料金が分かり難い」との意見に対しては、HPや店頭で表示している料金表を見て欲しい▷集合住宅では不動産業者に確認してからガス契約をして欲しい▷料金が分かり難いのはマイナスイメージだ▷協会理事会で省令改正の実態を聞くと「不動産業者や集合住宅の大家から『(無償貸与は)今まで出来たのに何故ダメなのか』と言われ、改正省令を丁寧に説明した」事例があった(進行役)▷制度改正に伴い消費者側はガス料金を改めて確認し、疑問があれば事業者や都道府県協会に問合せて欲しい

ことの無い現場の仕事を見て欲しい。我々事業者は安全・安心を確保し、事故ゼロを使命としている」などと挨拶した。

【実施内容】〈基礎訓練〉▷アセチレンガス逆火阻止実験▷液体酸素の燃焼消火▷空気呼吸器装着▷LPガス安全装置の作動実験、機体・液体の比較燃焼実験(総合訓練)▷液化塩素容器積載車とLPガスタンクローリ車の災害想定処理(展示)▷LPガス発電機、炊出しセット等▷LPG車(日産NV150)ーなど



LPG車

埼玉県協ブース

### 埼玉県高圧ガス防災訓練

武澤本部長「重大事故無し、今後も万全を」



佐藤副本部長

埼玉県、埼玉県高圧ガス団体連合会、埼玉県高圧ガス地域防災協議会は10月21日、鴻巣市の川里中央公園で令和7年度高

圧ガス防災訓練を実施した。開会に当り、本部長の武澤安彦・県危機管理防災部長は「県内で重大な事故は発生してなかった。皆さんが高い保安意識を持ち不断の努力を行ってきた成果だろう。今後も万全の備えをお願いする」、副本部長の佐藤一博・県高圧ガス団体連合会会長は、見学者に向け「普段は目にする

### ★全L協 自立型LPGスタンド新規受付

㈱全国LPガス協会は、2月20日まで「2026年度・自立型LPガススタンド」の新規申請を

### 関東域、戸建切替対策が多様化 CSクリエイト、情報収集し検討

戸建のLPガス切替えが活発化する南関東エリアでは訪問勧誘の営業トーク内容を説明し、「注意」を促すハガキを消費者に直接配付する販売事業者も出てきた。企業A社は、勧誘時に「A社が廃業する」「A社の提携先企業である」等と飛び込み営業を行う者、電話でA社社員を名乗り、検針票を用意させて訪問営業する者等の例や「破格の価格を提示し、切替後徐々に値上げする」例等を紹介する内容で、防衛に取組むという。

これらハガキやチラシ類を制作から発送まで取扱うシーエスクリエイト㈱の島崎浩志社長は「戸建切替えが多い関東エリアでは、様々な事業形態・業種や勧誘方法があり、詳細なデータを集めることもある。ハガキ・チラシだけではなくホームページ、SNS、訪販サイト等でも対応ができるので、まず多くの情報を集めるところから始めることが必要だと思う」等と話す。

<http://www.qrasta.co.jp>

くらすくらしの快適さ  
心地よさを 笑顔を添えて